

高山中学校 校内研修だより

No. 6 竹内先生
12/16(金) 3校時
2-B 道徳

「自他のよさを認め、自ら判断し、よりよく生きようとする生徒の育成」
～道徳の時間における話し合い活動のさらなる充実を通して～

大変遅くなりましたが、12/16(金)に行った一人一授業の報告です。参観していただいた先生方ありがとうございました。

本時のねらい

人間の生命の有限性やかけがえのなさなど、命の尊厳に気付かせ、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることへの感謝の念や喜びの気持ちをもち限られた生命を大切に生きていこうとする道徳的態度を育てる

授業の展開

過程	学習活動と発問「 」(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (5分)	1 今日のテーマが「生命」であることを知る 事前に行ったアンケートの結果を確認する <価値理解><他者理解> 資料を配布	○事前に価値に関わるアンケートをとり結果をまとめておく ○テレビ画面に結果を表示し、全体で確認する
展開前半 (20分)	2 資料を読んで話し合う (1)「瞳さんの生き方についてどんなことを考えましたか。」 <他者理解><人間理解> ・すごい ・前向きだ ・かわいそう ・なんでそんなにがんばれるのだろう ・私にはまねできない ◎(2)「瞳さんが、これほどまでに前向きに生きることができたのはなぜでしょう。」 <価値理解><他者理解><人間理解> ・周りの人の支えがあったから ・生きる希望を捨てなかったから ・自分を信じていたから ・伝えたいことがあったから ・病気になって初めてわかったことがあったから ・生きる時間が限られていたから	○登場人物の確認は教師主導で行い、話し合いの時間を長く取る ○時間をかけずに指名し答えさせていく ○同じような意見の人がいないか確認する ○自分にもこんな生き方ができそうか考えさせる ○個人で考えたあと、小グループで意見交流をし考えを深めさせる ○小グループでの意見交流の後、全体でも意見を交流しさらに閑雅を深めさせる
展開後半 (20分)	3 道徳的価値について自分とのかかわりで考える (3)『『本当の幸せ』とはどういうものだと思いますか』<自己理解> ・自分の好きなことができること ・何気ない毎日 ・家族や友達と過ごせること ・生きていること ○瞳さんのメッセージを聞く	○主発問を受けて「本当の幸せ」を考えることで生きることへの感謝の念生きる喜びなどの気持ちを引き出したい。

終末(5分)	4 本時の感想を書き、振り返る	☆命の大切さや人はみな互いに支え合 って生きていることに気付き限られ た命を大切に生きていこうとしてい るか。 ○数名に発表させる
--------	-----------------	---

参観者より

よかったところ（達成できたところなど）

本時のねらいに関して

- 生命の尊さについての意見が多く生徒から出されていた。
- 最後の生徒の感想から当たり前のような日常が幸せなんだと気づき、生命の大切さに気付くことができていたと思います。

話し合い活動に関して

- 瞳さんの生き方について活発な意見交流が行われた。
- みんな真剣に考えていました。お互いの考えを聞き、なるほどという感じでよい話し合いができていた。

その他

- 進行のテンポがよかった。資料の読み方も上手く、参考になった。
- 重たい内容だったかと思いますが、同世代の子の話だったので、真剣に考えられ、深く感じられるものがあつたのだと思います。
- 難しい内容でした。生命の大切さ、瞳さんのすごさを深く感じる事ができたと思います。自分に置き換えて考えることは難しかったのではないかと思います。

